

WHO ファクトシート

ボツリヌス症

Botulism

2018年1月

重要な事実

- ・ボツリヌス菌は、低酸素状態で危険な毒素(ボツリヌス毒素)を産出する細菌である。
- ・ボツリヌス毒素は、最も致死性が高いとして知られている物質のひとつである。
- ・ボツリヌス毒素は、神経機能をブロックし、呼吸や筋肉の麻痺を引き起こすことがある。
- ・人のボツリヌス症には、食餌性ボツリヌス症、乳児ボツリヌス症、創傷性ボツリヌス症及び吸入ボツリヌス症あるいはその他の中毒症がある。
- ・不適切に加工調理された食物の摂取による食餌性ボツリヌス症は稀であるが、迅速な診断と抗毒素治療がなければ、死に至る可能性のある疾病である。
- ・自家製の缶詰、保存食品、発酵食品等は、食餌性ボツリヌス症の一般的な原因であり、それらの加工調理には細心の注意を要する。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Botulism ファクトシート原文は [こちら](#)